

「北九州市DX推進計画」の改定について

1. 改定の目的・位置づけ・内容
2. 情報化アンケート結果報告
3. 北九州市DX推進計画（第2期）概要
4. 改定スケジュール

北九州DX推進計画の改定

改定の目的

新ビジョンと市政改革推進プランの策定、DXをとりまく技術や環境の進展、国の自治体DX推進計画の改定、他自治体の動向等をふまえ、当初計画より一年前倒しで第2期計画を策定する。

改定の位置づけ

- ✓ R7年度まで5年と定めていた第1期を、R6年度（4年）で終了
- ✓ 第2期の期間は、R9年度までの3年間（スマラく本格実施、システム標準化の完了時期）
- ✓ 集中取組期間は継続

主な改定内容

	第1期	第2期
DX推進の意義	国の方針	新ビジョンで目指す都市像の実現／市政変革マインドの醸成
バリュー（行動指針）	意識改革・しごと改革・働き方改革	市民サービスの向上・業務効率化・働き方改革に三立一体で取り組む
各論	行政手続きのオンライン化 テレワークの推進 ペーパレス化の推進	項目名を「フロントヤード改革の推進」に変更（フロントヤードからバックヤードまで一体化した「書かない」「待たない」「行かなくていい」窓口DXに取り組む） 両項目は、新項目「働き方改革」に吸収 ペーパーレス、テレワーク、オフィス改革の推進を通じて、業務プロセスを効率化し、ワークスタイルを変革する
将来展望	市役所内部のDX 地域DX	「一歩先の価値観」を体現する新しい行政のサービスモデルを創出 デジタル技術を活用した地域課題解決によるステナブルな北九州市の実現

情報化アンケートの実施報告（1）

1 調査の概要

※北九州市情報化アンケート調査報告書 1ページ参照

（1）実施内容

実施期間：令和6年8月9日～8月30日

（市内における情報化の実態を把握するため、5年毎に実施 *前回(は令和元年度)

調査対象：北九州在住、18歳以上の男女

抽出サンプル：4,000名（区の人口比による無作為抽出）

調査方法：【配布】郵送【回収】郵送及びオンライン

（2）回収結果

郵送数（a）	回収数	有効回収数（b）	有効回収率（b／a）
4,000件	1,397件	合計 1,362件 郵送 945件 Web 417件	34.1%

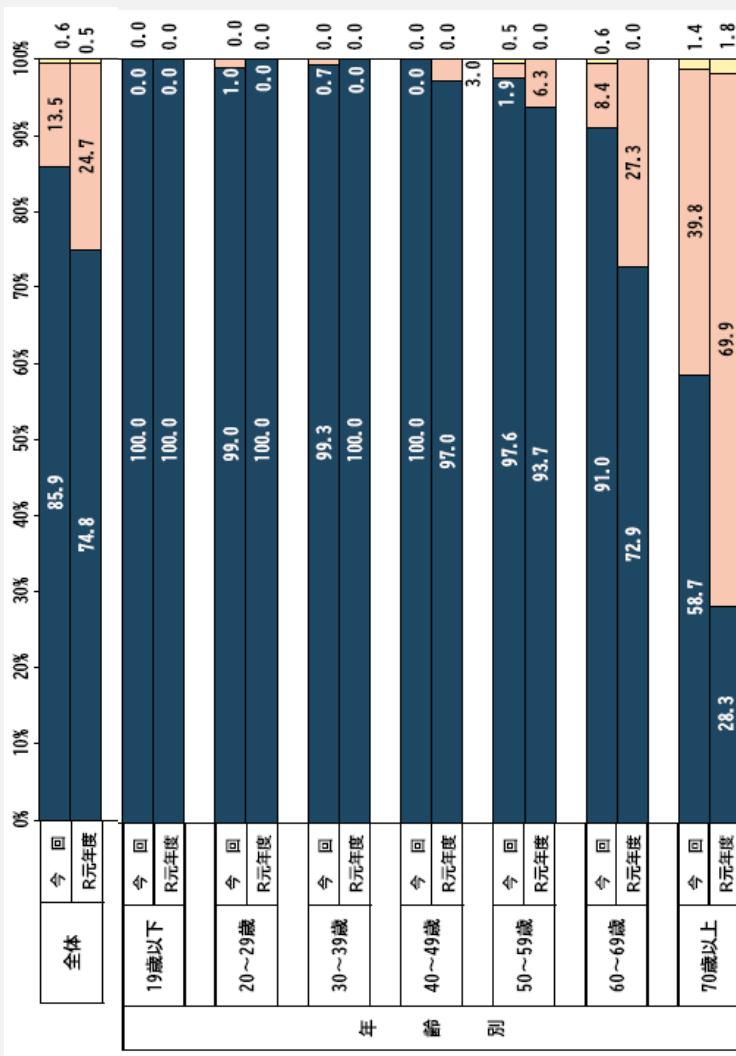
（3）調査対象者の属性

方 法 回 数	全 体	9 歳 以 下	2 歳 以 上	（単位：%）							
				1 歳 以 下	3 歳 以 下	4 歳 以 下	5 歳 以 下	6 歳 以 下	7 歳 以 下	5 歳 以 上	
全体	1362	1.5	7.3	10.7	13.2	15.4	8.1	12.3	8.7	21.8	0.9
郵送	945	0.6	3.8	5.9	9.6	14.0	9.1	14.7	11.5	29.6	1.1
WEB	417	3.6	15.1	21.6	21.3	18.7	6.0	6.7	2.4	4.1	0.5

情報化アンケートの実施報告（2）

2 調査結果の概要（インターネット利用状況）

1 インターネット利用状況（問6） ※北九州市情報化アンケート調査報告書 3～4ページ参照
全体の利用率は85.9%（北九州市DX推進計画に掲げる目標値85%を達成）



2 インターネット利用目的（問9）

※北九州市情報化アンケート調査報告書 12ページ参照
「SNS（ソーシャルメディア）」が大幅に増加（45.1→85.8%）し最も高い。以降、情報検索(83.2%)・買い物(69.7%)・メール(66.7%)・予約(60.1%)

3 主に利用しているSNS（問10）

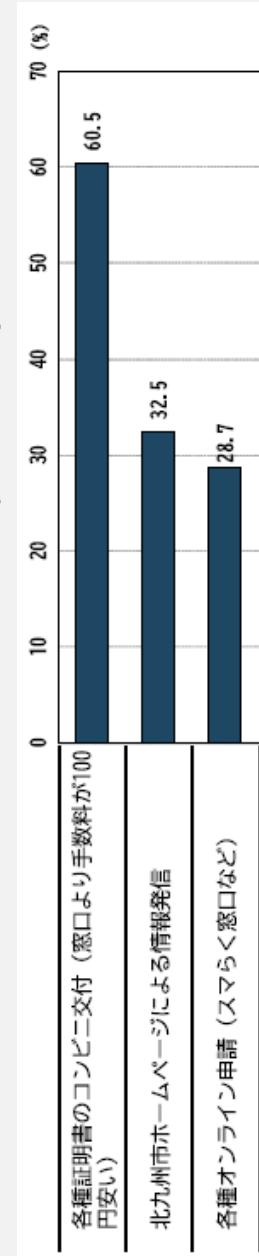
※北九州市情報化アンケート調査報告書 14ページ参照
年代を問わず「LINE」が最も高い(88.0%)以降、YouTube(60.1%)・Instagram(37.8%)・X(21.5%)・Facebook(8.4%)

■ 利用している ■ 利用していない □ 無回答

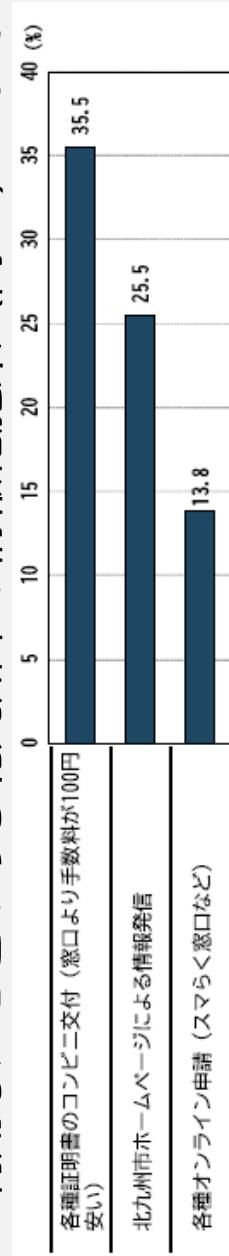
「情報化アンケートの実施報告（3）

3 調査結果の概要（北九州市の情報化施策）

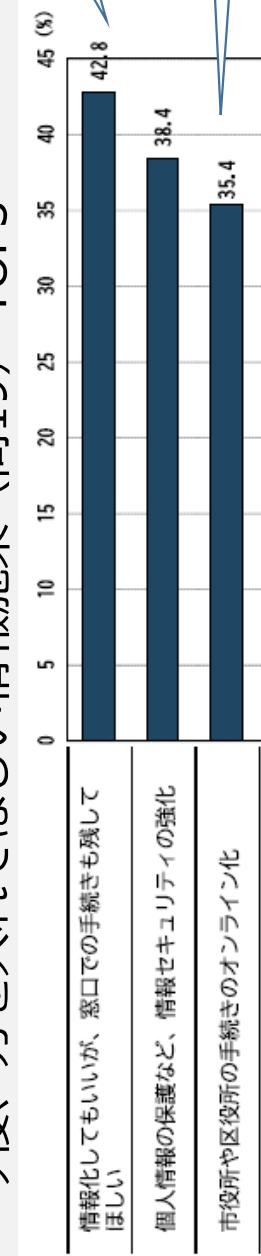
1 認知している北九州市の情報化施策（問16）TOP3



2 利用したことのある北九州市の情報化施策（問17）TOP3



3 今後、力を入れてほしい情報施策（問19）TOP3



※北九州市情報化アンケート調査報告書
21ページ参照

※北九州市情報化アンケート調査報告書
22ページ参照

※北九州市情報化アンケート調査報告書
25ページ参照

北九州市DX推進計画（第2期）概要（総論）

市が目指す姿



デジタルで快適・便利な幸せなまちへ

「何のためにDXに取り組むのかという目的」(ミッション)
デジタルで快適・便利な幸せなまちへ

ミッション
(目的・使命)

ビジョン
Vision
(自指す姿)

バリュー
Value
(行動指針)

「DXを通じて実現したい市の将来像」(ビジョン)
市民の視点から、「市民でよかったと感じられる市役所」
職員の視点から、「職員でよかったと感じられる市役所」

ミッション
(目的・使命)

ビジョン
Vision
(自指す姿)

バリュー
Value
(行動指針)

「市民や職員に提供する価値」(バリュー)
「意識改革」常により良いサービス・業務改善を追求します
「しごと改革」市民に寄り添ったサービスを素早く提供します
「働き方改革」働きがいのある「働きやすい」職場を実現します
「市民サービスの向上」ユーザー（市民）視点で
「業務効率化」人口減少の未来を見据えた効率化
「働き方改革」内なるユーザー（職員）の環境整備

バリュー
Value
(行動指針)



ユーザー主義への転換



ユーザー視点のイノベーションを創出

DX推進のスローガン

各議題の取組項目の推進

①マイナビバーカードの導入促進

②行政手続きの
デジタル化・オンライン化

③デジタル・デバ

④丁寧でわかりやすい広報・PR

⑤データの利活用

⑥デジタル人材の育成・育成

化・共創化

詳細次のページへ

▶

スローガン
[Slogan]

北九州市DX推進計画（第2期）概要（各論）

<p>① マイナンバーカードの普及・利活用の促進</p> <p>取組の方向性・目標 ✓市民サービス向上につながるマイナンバーカード利活用 ✓利便性・安全性の周知と申請・交付体制の充実</p> <p>取組内容 •カード利活用先拡大 •交付円滑化・PR</p>	<p>② プロントヤード改革の推進</p> <p>取組の方向性・目標 ✓区役所に行かず場合でも、窓口で書く・待つ場面を減らす ✓定型・大量業務を集中処理するなど</p> <p>取組内容 •スマート区役所サービスプロジェクト</p>	<p>③ デジタル・デバイド対策</p> <p>取組の方向性・目標 ✓新たなデジタル技術に関心を持つてもう機会の創出 ✓デジタルを導入した市民サービスの活用率80%を目指すなど</p> <p>取組内容 •普及啓発 •初心者向け講座 •デジタル化行政サービスの体験会</p>	<p>④ BPR（業務改革）の取組の徹底</p> <p>取組の方向性・目標 ✓全行統一的な手法のもと、自発的・継続的にBPRに取り組む ✓窓口職員の作業時間50%削減を目指すなど</p> <p>取組内容 •DX変革リーダーの定着支援 •ノンコア業務を集約した行政事務センターの業務拡大</p>	<p>⑤ AIなど先端技術の利用促進</p> <p>取組の方向性・目標 ✓AIなど先端技術によるDX推進 ✓先導的なAI×データ活用プロジェクトの創出2件以上 ✓年間合計150,000時間の作業時間削減を目指すなど</p> <p>取組内容 •AI等の導入及び活用促進 •先端技術の調査研究</p>	<p>⑥ データの利活用</p> <p>取組の方向性・目標 ✓行政の保有するデータを政策立案・評価に利活用する ✓民間の公共データ利活用を推進するなど</p> <p>取組内容 •オープンデータの拡充 •データ分析基盤等の構築 •データ連携基盤の構築等検討</p>	<p>⑦ 働き方改革</p> <p>取組の方向性・目標 ✓職員の柔軟な働き方や、持続可能なエンゲージメントの向上を実現する環境づくりをすすめるなど</p> <p>取組内容 •オフィス改革 •テレワーク環境の整備やペーパーレス化の推進 •意識改革、職場風土の変革</p>	<p>⑧ 丁寧で分かりやすい広報・PR</p> <p>取組の方向性・目標 ✓デジタル化・オンライン化で便利になるサービスを実感してもらう ✓デジタルを導入した市民サービスの認知度90%を目指すなど</p> <p>取組内容 •あらゆる媒体を活用 •高齢者等への広報・PR •「北九州市情報化アンケート調査」の活用</p>	<p>⑨ セキュリティ対策の徹底</p> <p>取組の方向性・目標 ✓環境の変化に対応した情報セキュリティマネジメントを図る ✓適切な個人情報保護など</p> <p>取組内容 •情報セキュリティポリシーの改正 •ゼロトラストを踏まえたセキュリティ対策 •外部監査の実施</p>	<p>⑩ 基幹業務システムの標準化</p> <p>取組の方向性 ✓令和9年度末までに標準化システムへの移行を目指す ✓全業務システムの安定稼働を見据えたシステム基盤の構築・運用など</p> <p>取組内容 •業務プロセスの見直し •新たなデータ連携の仕組みの構築 •ガバクラへの移行にかかる検討 •システム共通基盤の見直し</p>
---	--	---	---	---	--	---	--	---	--

北九州市DX推進計画（第2期）概要（将来展望）

(1) 新しい行政のサービスモデルへ

新たな行政のサービスモデルへ

1 行政需要への先回り

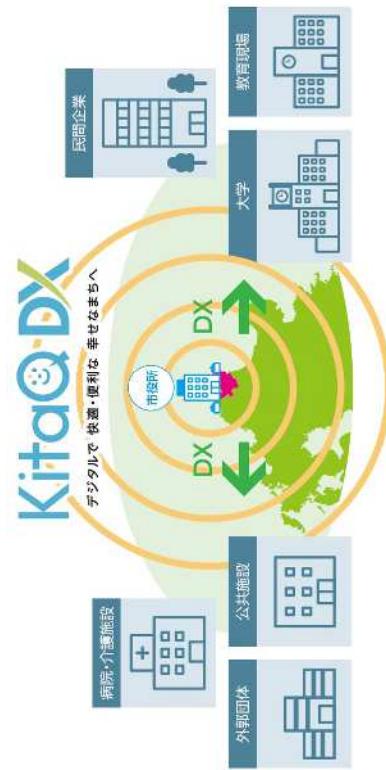


市役所DXで、「市民サービス向上」「業務効率化」「働き方改革」に三位一体で取り組み、それにより生み出された時間とマジパワーを使って、今後は「一步先の価値観」を実現する新しい行政のサービスモデルを創出していきます。

デジタル技術を最大限に活用し、

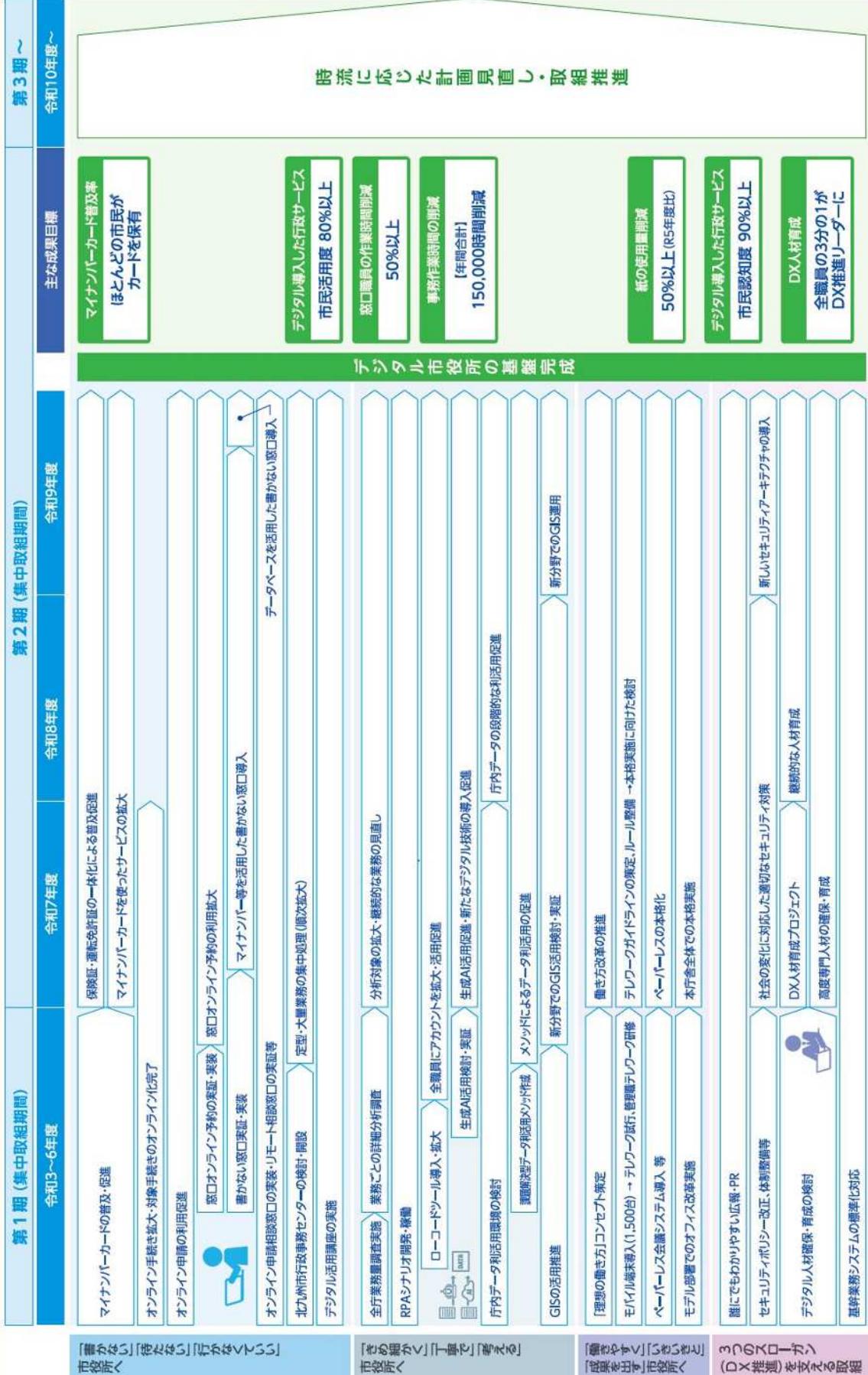
- 1 行政需要への先回り**
市民・地域・企業の行政需要を先手でつかみ、必要な対策について先手で打ちます。
- 2 一人一人にフルリードしたサービスの提供**
データの有効活用等により、市民一人一人にフルリードした一気通貫の行政サービスをフルユニーク型で提供していきます。
- 3 市民・地域・企業のマッチング**
アワトーチでタイムリーに、必要な人に必要なサービスと情報を届けるなどして、市民・地域・企業をマッチングします。

(2) 地域DXの推進



市役所DXの取組を市役所外に波及させることで、部局や官民、さらには自治体内外の垣根も越えて、ゆるやかで大きなチームとして、社会課題の解決や、新たに価値の創造を目指す地域全体でのDXを推進します。北九州地域に住み、動き、訪れる人、一人一人が「デジタルで快適・便利な幸せなまち」を実感できる、「一步先の価値観」を実現していきます。

主要な取組のロードマップ



北九州市DX推進計画の改定スケジュール

北九州市情報化アソシケート実施

令和6年
8月

素案作成

令和6年
9月～12月

◆ 北九州市DX推進懇話会（意見交換会）

パブコメ実施

令和6年12月16日
～
令和7年1月15日

改定完了

令和7年
3月